

市民セミナーヨ 2018 第5回
核抑止か、核廃絶か
～最後の被爆地で、最初から考える～

◆日時：2018年 **9月29日** (土) **13:30**～15:00

◆会場：浦上キリシタン資料館 コミュニティースペース



今年の平和祈念式典の「長崎平和宣言」で田上富久市長は、核兵器保有国と核の傘に依存している国々に、国連総会決議第1号に立ち返り「核兵器廃絶」を訴え、日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同を求め、「戦争の文化」から「平和の文化」を市民社会の力で世界中に広げていこうと呼びかけました。

しかし世界の一部では、そんな長崎の訴えとは逆行し、核軍縮どころか「使える核」を開発する動きさえあるのが現状です。

一体、なぜなのでしょう。改めて核を巡る世界の状況を把握し、原点に帰って核抑止力とは有効なのか、核兵器廃絶は本当に可能なのかなどについて、長崎大学核兵器廃絶研究センターの吉田文彦副センター長を講師に迎え、客観的に分析していただき、市民と率直に語り合える場を提供します。

「長崎を最後の被爆地に」と願う市民にとって、この問題をどう捉え、どう行動していけばよいのかのよき指針となれば幸いです。



◆講師：吉田 文彦 (YOSHIDA, Fumihiko)

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 副センター長 教授

1955年京都府生まれ。東京大学文学部卒、朝日新聞社入社。2000年より論説委員、論説副主幹。その後は、国際基督教大学 (ICU) 客員教授、米国のカーネギー国際平和財団客員研究員、笹川平和財団常務理事など。主な著書は、『核解体』『証言 核抑止の世紀』『核のアメリカ』。

◆音楽コーナー：果里 (かりん)

1990年より音楽活動開始。関東方面で活動後、2006年より活動の拠点を長崎に移し現在は年1回のソロツアーを継続しながらイベントでも活動中。代表作は「重たい銃」「端島 - 軍艦島に捧ぐ -」等。愛と平和を奏でる歌声が、力強く優しく印象づけてくれる。



◆定員：40名 (先着順) ◆参加料：500円

◆お申し込み：浦上キリシタン資料館宛に、電話、ファックス・メールでお申し込みください。

◆主催：  アジェンダNOVAながさき (代表 林田慎一郎 090-7923-7435)

浦上キリシタン資料館

開館時間：10:00-17:00 休館日：月曜日 (但し月曜が祭日の時はその翌日)

〒852-8116 長崎市平和町11-19

Tel&Fax 095-807-5646 E-mail: urakamicm@mx.a.cncm.ne.jp

■長崎電鉄「松山町」停留所徒歩5分 ■県営バス「浦上天主堂前」徒歩1分